

令和5年度 Mine みらいトーク<真長田地区>

日時:令和5年7月21日(金) 18:00~19:50 場所: 真長田公民館 多目的ホール 10名

団体	真長田まちづくり振興会
テーマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小学校の統合について</li> <li>2 定住促進・空き家対策</li> <li>3 農業後継者の対策</li> <li>4 宝くじ助成金</li> <li>5 メタセコイアについて</li> </ol>

要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等
<p>美東の子供が中学校の段階で、市外に出て行っている状況がある。逆に他市町から児童・生徒が通学したくなるような魅力ある教育施設を整える必要があると考えている。</p> <p>美東小中一貫校化には、PTA 連合会も大きな期待を寄せており、校舎分離型では無く一体型の一貫校への移行について市へ要望書を提出しているところである。</p> <p>また、一貫校への移行に併せて、小学校跡地の利用についても検討してほしい。</p>	<p>要望書の回答については、教育委員会から8月上旬を目途に準備しているところです。</p> <p>アンケートの実施など、関係者の意見をよく聞いた上で方向性を出したいと考えております。</p> <p>一貫校化のメリットが一層、発揮できるよう本年度から来年度にかけて取り組みを進めてまいります。</p> <p>なお、小学校の跡地利用については、これまで、統廃合後に検討を進めていましたが、今後は、統合協議とセットで跡地活用の検討を進めたいと考えています。</p>	
<p>真長田保育園の統合について、認定こども園の設置など、保護者のニーズにあった環境整備を検討できないか。</p>	<p>市では、保育園の再編整備計画を策定しており、その計画の下、真長田保育園の今後についても、有識者も交え令和7年度には方針を出す考えであります。</p> <p>なお、幼稚園の設置については、これまでに市立の幼稚園が無かったことから、教員等の配置が容易には出来ず、設置</p>	

	は困難であると考えています	
<p>真長田地区は山口市小郡からも近く、他市からの転入もしやすい立地であり、事実、空き家もすぐ埋まってしまう状況である。</p> <p>定住促進として、白土市営住宅を活用したお試し移住や宅地開発が出来ないか。</p> <p>また、移住施策を展開するにあたって、移住の理由等を調査することが重要と考えるが、何か調査等を行っているのか。</p>	<p>「お試しくらし」の取り組みは、地域振興課で進めており、白土団地での活用についても可能性を追求したいと考えています。</p> <p>移住された方については、今後の移住施策に資するよう住民異動の手続きの際、移住の理由を確認しています。</p> <p>移住施策の展開にあたっては、住居と移住したいと感じる地域の雰囲気づくりが重要であると考えています。</p>	
<p>農業従事者が減少し、農地の荒廃が著しい。この中山間地域で新たに農業をしようとする人はあまりいないのではないかと考える。15年後くらいには美祢市の農業が崩壊していないか危惧している。</p> <p>農地を集約した大規模化だけでは、問題が解決しないと考えており、中小農家に対する支援が必要と考える。</p>	<p>農業従事者を維持、または増加させるためには、農政だけではなく、地域振興、教育の観点からも推進する必要があると考えています。</p> <p>本年度、地域計画を策定しますので、ステップを踏んで取り組みを進めたいと考えております。その中で、中小農家に対する支援や兼業農家を維持する取り組みを行っていきたいと考えています。</p> <p>その他、中山間地域特有の問題に対応した事業を展開したいと考えています。また、兼業農家を支援する観点からも3世代家族や共働き世帯、親との近居の世帯に対する支援も併せて取り組みます。</p>	
<p>真長田定住センターは災害時の避難所として指定されており、安心して避難できる環境を整備していただけないか。</p>	<p>災害時に活用する資機材は「宝くじ」の助成事業で整備が可能と考えています。真長田地区振興会は、その事業の申請団体になり得ると考えており、市に相談していただければと存じ</p>	

	<p>ます。</p> <p>災害時の資機材は、各避難所に備え付けるべきものと考えています。地域の整備バランスを考慮しながら、宝くじ助成事業などを活用し、整備を進めます。</p>	
<p>メタセコイアについては、落ち葉の処理や、年数の経過により倒木の危険も考えられるなど、地域住民の悩みの種になっている。</p> <p>昨年、市と地域の働きかけにより、県に樹木の一部を伐採してもらった。しかし、一方では、メタセコイアをアピールした事業の実施など、市のあべこべな対応が見受けられる。</p> <p>市も危機意識をもってホームページの掲載を削除するなど対応してほしい。</p>	<p>市のホームページに健康増進を目的としたウォーキングコースの名称を「メタセコイアぶらぶらコース」として掲載しています。</p> <p>市のこの件に係る統一的な対応を図る観点から、ホームページの掲載を削除するとともに、今後も県に伐採に向けた働きかけを継続するなど取組を継続してまいります。</p>	
<p>真長田コミュニティセンターは、建築から 30 年程度経過しており、施設の老朽化が目立ってきている。</p> <p>和室はフローリング改修を行うなど時代に則した市民が利用しやすい施設への改修を検討してほしい。</p> <p>また真長田児童クラブが併設されているが、市民が会議室を利用できない状況が発生しており、児童クラブ施設の新設をお願いしたい。</p>	<p>現在、本市には、公民館が13か所あり、施設の整備にあたっては、計画的に順次行うこととしております。</p> <p>しかしながら、施設利用に多大な支障が生じるものや、直ちに対応しないと後に莫大な費用が発生するようなものについては、早急に対応する考えであります。</p>	
<p>十文字原の工業団地について、昨年のトークでデータセンターの誘致に向けて動いていると回答があったが、その後の状況は？</p>	<p>十文字原の工業団地の取組については、現在、データセンターの誘致に向けて経済産業省の事業を活用し、可能性調査を実施しているところであります。</p>	

<p>十文字団地に進出している企業について、地元雇用が少ないと聞いている。地元の雇用促進につながる取り組みをお願いしたい。</p>	<p>十文字団地の活用(進出)については、公募により民間事業者から新たな進出に向けた提案をいただく予定であります。進出が実現し、地元からの雇用に繋がることを期待しているところです。</p>	
<p>先日、被害を受けたJR美祢線について、市・県とJRでは、考え方にかなりの相違があると感じているが、市長はどう考えているのか。</p>	<p>JR 美祢線については、路線の復旧と赤字による廃線の議論は別に行っていただくよう申し入れしているところです。JR 側は、今回の路線の被災メカニズムの調査が先決であるとの考えを示されています。</p> <p>この件については、今後とも県と意見を調整して一体となって進めていきたいと考えています。</p>	
<p>近年の河川氾濫等の災害は、河川の浚渫が不十分であることが原因ではないかと考えている。このことについて、市はどのように考えているのか。</p>	<p>市が管理する河川については、近年は、年間 5,000 万円から 6,000 万円をかけて浚渫を実施しています。</p> <p>今後もこの事業は継続して取り組みたいと考えています。</p>	
<p>この度の一連の豪雨に関して、小中学校が休校になった場合とそうでなかった場合があった。</p> <p>休校にする場合の判断基準はどうなっているのか？</p>	<p>休校の判断は、学校長の判断により実施されています。この度の休校の判断は、通学路の安全が確保できるか否かを基準に行ったものです。</p>	
<p>休校の判断は、通学路の安全確保以外にも、校舎が土砂災害警戒区域等に設定されている場合などは、校舎への被災なども考慮すべきではないか？</p>	<p>この度は、土砂災害警戒情報が解除されたのを確認し、休校を行わないとの判断がなされたものと認識しています。</p> <p>今後とも、休校等の判断をする場合は、専門家等の意見を踏まえ適切に判断してまいりたいと考えています。</p>	

<p>美東地域は、河川改修を実施しており、近年では、河川氾濫等の災害は少なくなったと思う。</p> <p>美祢地域においても、もっと河川の改修等を行うべきではないか。</p>	<p>河川改修にあたっては、本流の改修が重要と考えています。したがって、県ともよく協議し、一体となって取組を進めていきたいと考えております。</p>	
---	--	--